

らしい	推量のモダリティ：確かな情報による推定。 接続：普通形 聴覚情報をもとに推量する。 聞いた話から推量する = 想像する	接続：普通形	
	太郎は来週の会議に参加しないらしい。 聴覚情報：らしい/そだが被る 花子の話によると、太郎は来週の会議に参加しないらしい。 推量が少なく伝聞的 花子の話によると、太郎は来週の会議に参加しない そうだ 。伝聞の そうだ 家族旅行だと噂を聞いたので、太郎は来週の会議に参加しないらしい。 推量する。 鈴木さんは来月大阪へ行くらしい。確かの情報からの推量	動詞	行くらしい 行かないらしい 行ったらしい 行かなかったらしい
	太郎はあの秘密をまだ知らないらしい。 客観的 太郎はあの秘密をまだ知らない ようだ 。 主観的：関心度が高い	イ形容詞	暑いらしい 暑くないらしい 暑かったらしい 暑くなかったらしい
	*私は会議に参加しないらしい。 *あなたは会議に参加しないらしい。 太郎は会議に参加しないらしい。(1人称 2人称では使えず、3人称だけで使う) 典型例のらしい：ここ数年、風邪 らしい 風邪をひいていない。男 らしい 人。	ナ形容詞	有名(×)らしい (だを消す) 有名じゃないらしい 有名だったらしい 有名でわなかったらしい 有名じゃなかったらしい
		名詞	休み(×)らしい (だを消す) 休みじゃないらしい 休みだったらしい 休みではなかったらしい 休みじゃなかったらしい

ようだ	推量のモダリティ 接続：普通形 視覚情報と経験をもとに推量。 ようだ = みたいだ (口語的同じ意味)	接続：普通形	
	太郎は昨日、自宅に帰らなかった ようだ 。：主観的な判断 1.昨日と同じ服を着ている 目で見て1~3の経験情報 2.げっそりしている をもとに推量している。 3.忙しい時期	動詞	行くようだ 行かないようだ 行ったらようだ 行かなかったようだ
	太郎は昨日、自宅に 帰らなかった ようだ。 過去の推量 普通形接続はテンス 太郎は今日、 来ない ようだ。 未来の推量 がある。	イ形容詞	暑いようだ 暑くないようだ 暑かったようだ 暑くなかったようだ
	太郎はプレゼントをもらってうれしい ようだ 。 第三者の感情感覚を表す。 普段感情を表さない太郎を見て、普段との違いから推量する。 太郎はプレゼントをもらってうれし(×) が っている。明らかなうれしい行動の状況	ナ形容詞	有名 な ようだ (な接続) 有名ではないようだ 有名じゃないようだ 有名だったようだ 有名でわなかったようだ 有名じゃなかったようだ
		名詞	休みの よう だ (の接続) 休みじゃないようだ 休みだった よう だ 休みではなかった よう だ 休みじゃなかった よう だ

そうだ	<p>推量のモダリティ 見た目の印象からの判断【様態や兆候】のモダリティ</p> <p>外観をもとに、次の展開が存在していることを表す。</p> <p>シャツのボタンが取れそうだ。 次の瞬間に事態が発生する。推量は無い。</p> <p>ボールがテーブルから落ちそうだ。</p> <p>現在の状況をもとに将来の予想を表す。 少し先の将来を予想している</p> <p>来週にはこの仕事も終わりそうだ。 このまま行くと、何時かこうなる</p> <p>この好景気は5年後も続きそうだ。</p> <p>仮定や未現実の事態がある事態を引き起こす可能性を表す。</p> <p>太郎が総理大臣になったら、景気が悪化しそうだ。</p> <p>午前はプール授業なので、午後の授業ではみんな寝そうだ。</p> <p>朝の段階だと、可能性を示す。午後なら次の展開を表す</p> <p>外観をもとに主体がある性質や感情などを持っている可能性を表す。</p> <p>このケーキは美味しそうだ。 食べてないので未確認である。</p> <p>太郎はさびしそうだ。 基本形容詞が多い。</p> <p>「美しい」「可愛い」「赤い」等、一見して分かるような語には接続できない。</p> <p>*美しそうだ。*可愛いそうだ。 *赤いそうだ。*有名そうだ。</p> <p>たくさん本がある。100冊はありそうだ。 形容詞以外でも表現可能</p> <p>このナイフは良く切れそうだ。 切れる=可能形：状態性がある。</p>	<p>接続 Vマス形 イadj (い消去) ナadj (な消去) +そうだ</p>	
	動詞	行き そうだ 走り そうだ	食べ そうだ 寝 そうだ
	イ形容詞	暑(×) そうだ 美味し(×) そうだ 良い：いい+ そうだ =よ さ そうだ 無い：ない+ そうだ =な さ そうだ	寂し(×) そうだ (い)を消す
	ナ形容詞	有名(×) そうだ にぎやか(×) そうだ	元気(×) そうだ (だを消す)
	<p>伝聞のそうだ 接続：普通形 接続が違う</p> <p>他の人から聞いた話を伝える</p> <p>新聞によると、犯人が逮捕されたそうだ。</p> <p>前件には「~によると」「~によれば」などが呼応しやすい</p> <p>このお店、持ち帰りは自由だそうだ。</p> <p>子供が生まれるそうだ。 V普通形+そうだ=伝聞</p> <p>子供が生まれそうだ。 Vマス形+そうだ=様態兆候</p>		

はずだ	<p>確信のモダリティ 論理的 客観的な証拠に基づく表現</p> <p>ある事態を道理や常識をもとに推論して得られる当然の帰結を表す。</p> <p>まだ間に合うはずだ。 論理的-道理からしてそうなる。</p> <p>昨日約束したから、きっと来るはずだ。 論理的-道理からしてそうなる。</p> <p>昨日約束したから、きっと来るにちがいない。 主観的思い込みの確信</p> <p>服装からして、あの人は教員にちがいない。 主観的思い込みの確信</p> <p>4年前大学に入学したので、すでに卒業しているはずだ。</p> <p style="padding-left: 2em;">推論とかでもなく、普通う4年で卒業しているだろう。論理的にそうだ。</p> <p>4年前大学に入学したので、すでに卒業しているにちがいない</p> <p style="padding-left: 2em;">主観的に卒業していないとおかしいだろう。思い込んでいる。</p> <p>すでに確定している事実の原因をしり納得を表す。</p> <p>太郎は2歳からピアノを弾いているらしいよ。通りで上手なはずだ。</p> <p>太郎は毎日1升の米を食べるんだって。それじゃあ、太るはずだ。</p> <p style="padding-left: 2em;">太る：「納得のはずだ」は原因となった1升の米を食べる時点に焦点。</p> <p style="padding-left: 2em;">*太ったはずだ。過去形が使えない。</p> <p>太郎は毎日100キロ走っているんだって。それじゃあ、太らないはずだ。</p> <p style="padding-left: 2em;">非過去の要素は使える。 太らない：非過去の否定</p> <p>現在の状況は反しているが自分が当然と考えいることを表す。</p> <p>おかしいな、さっき（窓を）閉めたはずなのに。 : 不思議な感覚</p> <p>昨日メールで送ったはずなんですけど。 : 言い訳的</p> <p>あれ、太郎は今日は休みのはずなのに。 : 不思議な感覚</p> <p>過去に伝えたこと、決めたことの確認を要求していることを表す。【確認要求】</p> <p>9月までに提出すると約束したはずだ。</p> <p>二度と来るなど言ったはずだ。</p> <p>この資料の作り方はもう教えたはずだ。</p> <p>否定の形で、道理常識からして「ありえない」という可能性の否定を表す。</p> <p>昨日アメリカに行った太郎がここにいるはずがない。</p> <p>8月の東京が寒いはずがない。</p> <p>こんなに大量の食べ物を一人で食べられるはずがない。食べられる：可能の動詞</p>	<p>接続：普通形 名詞とナ形容詞の肯定の非過去が特殊</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">動詞</td> <td>行くはずだ</td> <td>行かないはずだ</td> </tr> <tr> <td>行ったはずだ</td> <td>行かなかったはずだ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">イ形容詞</td> <td>暑いはずだ</td> <td>暑くないはずだ</td> </tr> <tr> <td>暑かったはずだ</td> <td>暑くなかったはずだ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">ナ形容詞</td> <td>有名なはずだ (な接続)</td> <td>有名ではないはずだ 有名じゃないようだ</td> </tr> <tr> <td>有名だったはずだ</td> <td>有名でわなかったはずだ 有名じゃなかったはずだ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">名詞</td> <td>休みのはずだ (の接続)</td> <td>休みではないはずだ 休みじゃないはずだ</td> </tr> <tr> <td>休みだったはずだ</td> <td>休みではなかったはずだ 休みじゃなかったはずだ</td> </tr> </table> <p>「にちがいない」「に決まっている」否定の形はとらない。 「はずだ」は「はずがない」という可能性の否定の形がある。 「はずはない」：やわらかい。既知の内容。 「はずがない」：今見つけて驚いて強調している。新しい情報のが 「はずだ」は1人称では使えない。</p>	動詞	行くはずだ	行かないはずだ	行ったはずだ	行かなかったはずだ	イ形容詞	暑いはずだ	暑くないはずだ	暑かったはずだ	暑くなかったはずだ	ナ形容詞	有名なはずだ (な接続)	有名ではないはずだ 有名じゃないようだ	有名だったはずだ	有名でわなかったはずだ 有名じゃなかったはずだ	名詞	休みのはずだ (の接続)	休みではないはずだ 休みじゃないはずだ	休みだったはずだ	休みではなかったはずだ 休みじゃなかったはずだ
	動詞	行くはずだ		行かないはずだ																		
		行ったはずだ	行かなかったはずだ																			
	イ形容詞	暑いはずだ	暑くないはずだ																			
		暑かったはずだ	暑くなかったはずだ																			
	ナ形容詞	有名なはずだ (な接続)	有名ではないはずだ 有名じゃないようだ																			
		有名だったはずだ	有名でわなかったはずだ 有名じゃなかったはずだ																			
	名詞	休みのはずだ (の接続)	休みではないはずだ 休みじゃないはずだ																			
		休みだったはずだ	休みではなかったはずだ 休みじゃなかったはずだ																			
	<p>確信のモダリティ 「にちがいない」 接続：普通形</p> <p>根拠に基づき推論した事柄をまちがいないものと確信している。</p> <p style="padding-left: 2em;">主観的な思い込みで良い。蓋然的 「相違ない」と同義</p> <p>犯人はこの窓から侵入したにちがいない。 現状を見て判断。</p> <p>太郎は眠そうだ。昨日徹夜したにちがいない。</p> <p>太郎は悪い奴にちがいない。主観的な思い込み。</p> <p>この手帳はあなたのものにちがいないですね。【確認】</p>	<p>確信のモダリティ「に決まっている」 接続：普通形</p> <p>推論したりするまでもなく、ある事態が確実に成立するという事を表す</p> <p>崖から飛び降りたら怪我するに決まっている。</p> <p>どうせ私が負けるに決まっている。諦めている表現</p>																				

対事的モダリティ 命題に対する話し手の捉え方。認識的モダリティ と 行為拘束的（当為的）モダリティ						
エビデミック 認識的 モダリティ	蓋然的	主観的な思い込み。 (がいぜん)	推量	らしい	ようだ (みたいだ)	そうだ：目のそう
		彼が犯人に違いない。		鈴木さんは、大阪に行くらしい。		
	論理的	事態の成立に根拠がある。	伝聞	そうだ：耳のそう	犯人は逮捕されたそうだ。	
		まだ間に合うはずだ。		確信	はずだ (論理的)	違いない (直感的：主観的思い込み)
デオンティック 拘束 モダリティ	拘束	義務を表す。	説明	のだ	んだ	わけだ
		外出は自粛するべきだ。		都合がわるいんです。		
	免除	拘束から許可を表す。	非断定	と思う	だろう	でしょう
		もう、帰ってもいい。		断定	無し (言い切り)	意志
			明日、学校へ行く。			

対人的モダリティ 聞き手に対する発話・伝達態度を表したもの。行為要求モダリティ				
行為要求 モダリティー	依頼	こちらに <u>来</u> てください。	禁止	これは使ってはいけません。
	勧誘	こちらに <u>来</u> ませんか。	許可	これは使ってもいいです。
	命令	こちらに <u>来</u> い。	質問	何を <u>食</u> べましたか？ 「か」終助詞
	注意喚起	明日はテストだ <u>よ</u> ね。	同意確認	出席できる <u>よ</u> ね。 終助詞は複数可能 よ/ね
【命題】 + [対事的モダリティ] + 【対人的モダリティ】			【雨が降る】 + [かもしれない] + 【よ】	
[客観的素材]：命題 コト 言表事態 叙述内容			[主観的態度]：モダリティー ムード 言表態度 陳述	

対事的モダリティと対人的モダリティがあるタイプ。 対事的モダリティー：当為的モダリティ＝行為拘束的モダリティ＝[拘束：義務][免除：許可]			
その制度は廃止すべきだ。	当然	対事的	一般的に、当然であると述べているので、対事的：行為拘束
君は悪い態度を改めるべきだ。	忠告	対人的	話し手に向かって、忠告しているので、対人的。
運転時は免許証を携帯しなければならない。	義務	対事的	一般的に、義務であると述べているので、対事的：行為拘束
君は発言に責任を持たなければならない。	忠告	対人的	話し手に向かって、忠告しているので、対人的。
優勝したとは、本当にすごいことだ。	詠嘆	対事的	話し手の中で詠嘆していて、相手に働きかけは無いので、対事的。
失敗はあまり気にしないことだ。	勧め	対人的	話し手に向かって、勧めているので、対人的。
昔、よくこの海で遊んだものだ。	回想	対事的	話し手の中で回想していて、相手に働きかけは無いので、対事的。
学生は勉強に専念するものだ。	*当然	対人的	話し手に向かって、当然であると主張しているので、対人的。

対事的モダリティー：認識的モダリティ [蓋然的]=真偽不明で主観的な思い込み [論理的]=根拠がある			
彼は来月大阪に行くらしい。	情報から推量	音がするから、誰かいるはずだ。(論理的)	根拠のある確信
各地で停電が起きているようだ。	推量	あの人は教員に違いない。(蓋然的)	主観的な確信
あそこで、事故があったみたいだ。	推量(口語体)	その日は都合が悪いんです。	現状説明
シャツのボタンが取れそうだ。	見た目から推量	帰国子女か、発音が上手いわけだ。	推論から説明
新聞によると、犯人が逮捕されたそうだ。	伝聞	明日は晴れるだろう。(でしょう。)	非断定
もしかしたら、遅れるかもしれない。	可能性	たぶん間に合うと思う。	非断定

対事的モダリティ = 【認識的モダリティ】 = 真偽の判断 + 【拘束的モダリティ】 = 義務や免除を表す

対事	認識的	らしい [客観的]	推量	聴覚 情報 (部長によると) 鈴木さんは、大阪へ行くらしい。(伝聞) [聴覚からの推量]
		ようだ [主観的]		視覚 情報 停電しているようだ。あの秘密を知らないようだ。[様々な情報から判断] 関心度高
		みたいだ		口語的 事故があったみたいだ。= あったっぽい。 ようだの口語体
対事	認識的	まい	否定推量	そんなことあるまい。そんなことないだろう。
対事	認識的	そうだ	推量	目のそう シャツのボタンが取れそうだ。 [動詞の連用形接続] 目で見た情報
		そうだ	伝聞	耳のそう 新聞によると犯人が逮捕されたそうだ。 人から聞いた情報
対事	認識的	ちがいない	確信	直感的 服装からして、あの人は教員にちがいない。 主観的思い込み
				確認 この本は、あなたのものにちがいないですね。 確認するのに使う
		はずだ		論理的 明かりが付いているので、誰かいるはずだ。 客観的証拠
				納得 海外にいたんだ。どつりで発音が上手なはずだ。 疑問氷解
対事	認識的	のだ	んだ	断定 それでいいのだ。 発見 こんな方法があるんだ。 意志 次は合格するんだ！
対事	認識的	のだ	説明	その日は都合が悪いんです。 現在の状況の説明
		わけだ		海外にいたんだ。どおりで発音が上手なわけだ。 推論からの説明

対事	認識的	と思う	非断定	たぶん間に合う と思う 。	
		だろう		おそらく明日は晴れる だろう 。[例外的に活用しない]	
		でしょう		きっと明日は晴れる でしょう 。	
対事	認識的	かもしれない	可能性	もしかしたら遅れる かもしれない 。	
対事	認識的	Φ	断定	妹は買い物に出かけている。Φ [動詞文] そこは賑やかだ。Φ [ナ形容詞文]	
				試験に合格して嬉しい。Φ [イ形容詞文] 彼は大学生だ。Φ [名詞文] [言い切り]	
		私は・・・Φ	意志	私は来年、留学します。Φ [一人称で 言い切りで未完了]	
対事	認識的	ものだ	回想	昔はよくこの海で遊んだ ものだ 。	人を対象としない
		ことだ	詠嘆	優勝したとは、本当にすごい ことだ 。	人を対象としない
対事	拘束	べきだ	当然	その制度は、廃止す べきだ 。廃止した ほうがいい 。	一般的な考え
		なければならない	義務	夕食の準備を しなければならない 。 [= する必要がある]	行為の妥当性と義務
	免除	免除	てもいい	免除	もう帰 てもいい 。 今なら猫を抱 いてもいい 。

動詞普通形	イ形容詞普通形		ナ形容詞普通形		名詞普通形		ようだの接続	
行く	らしい	暑い	らしい	有名	らしい	休み	らしい	有名 な ようだ
行かない	らしい	暑くない	らしい	有名じゃない	らしい	休みじゃない	らしい	休 みの ようだ
行った	らしい	暑かった	らしい	有名だった	らしい	休みだった	らしい	視覚情報と経験情報
行かなかった	らしい	暑くなかった	らしい	有名じゃなかった	らしい	休みじゃなかった	らしい	

対事的	拘束的モダリティの性質 : 主題に課された拘束または拘束からの免除を表す			
拘束	①聞き手への要求を表す。(対人的モダリティ)		今は時間がないから早く、行くべきだよ。行ったほうがいいよ。	
	②話し手の行為の意向も表すことができる		そろそろ行かなくてはならない。	
	③モダリティの前にル形とタ形のテンスの対立を持たない。			
	対立	認識的モダリティ	ル形 = 食べるらしい。(○)	タ形 = 食べたそうだ。(○)
		拘束的モダリティ	ル形 = 食べるなければならない。(×)	タ形 = 食べたなければならない。(×)
			ル形 = 食べるべきだ。(○)	タ形 = 食べたべきだ。(×)
	④認識的モダリティと拘束的モダリティの接続			
	このケーキは	食べてもいい	はずだ。	拘束的モダリティ+認識的モダリティで接続
		拘束的モダリティ 免除	認識的モダリティ 論理的推量	
	⑤人称制限はない。		私が行くべきだ。	あなたが行くべきだ
彼が行くべきだ。				
「なければならない」は規則で決まっている必要なこと。個人的なことには使えない。				
「なければならない」に否定形は無い。「なければ な らない」は固い表現 「なければ い けない」は話し言葉				
「なければならない」は 意志動詞 に接続して、無意志動詞には使えない。 「彼はわかる べきだ (×) 」				

対人	行為要求	ものだ	当然	学生は、勉強に専念する ものだ 。[ものだ+よ] 2つ重ね可能	聞き手への忠告
		ことだ	勧め	失敗はあまり気にしない ことだ 。	聞き手への忠告
		べきだ	当然	拘束的 君はもっと勉強 すべきだ 。	聞き手への忠告
		なければならない	義務	拘束的 君は将来を考え なければならない 。 [= する必要がある]	聞き手への忠告
対人	行為要求	ませんか	勧誘	一緒に帰り ませんか ？	
		ましょう		一緒に帰り ましょう 。	
対人	行為要求	てください	依頼	明日までに課題を提出 してください 。	
		くださいませんか		今、課題を提出 くださいませんか ？	
対人	行為要求	なさい	命令	拘束的 早く寝 なさい 。	
		てもいい	許可	拘束的 この辞書なら使 てもいい ですよ。	
		てはいけない	禁止	拘束的 この辞書は使 てはいけない 。	
対人	行為要求	か	質問	何を食べました か ？	
		の	質問	何を食べました の ？	
		よね	同意確認	明日の会議、参加できる よね 。	

ムードの夕	発見の夕	眼鏡、そんな所にあつたんだ。 あ！あつた！	モダリティ
	反事実の夕	早く行けば買えたのに。もっと頭が良かったらなあ・・・	モダリティ
	想起の夕	水曜日は会議だったな。	モダリティ
	確認の夕	そういえば、大阪出身だったんですね。	モダリティ
	命令の夕	買った買った！サンマが安いよ！どいた！どいた！	モダリティ
	決定の夕	やあめた！ よし！そのサンマ買った！[意志の決定]	モダリティ
過去を表す夕		彼は昔生意気だったな。	
		太郎君は 1時間前 に帰りました。昨日会った男性がいる。	
		その映画を見ませんでした。[過去の否定は夕形]	
完了を表す夕		太郎君は もう 帰りました。 すでに 帰りました。	完了の[もう]
		この映画を、 すでに 見ましたか？	完了の[すでに]
		その映画はまだ 見ていません 。[完了の否定はテイル形]	完了の否定形
状態を表す夕		とが つた えんぴつ。 = とが つている えんぴつ	
		眼鏡をかけた男性。 = 眼鏡を 掛けている 男性。	

陳述副詞 呼応の関係にある副詞	
モダリティを修飾している。	モダリティとは関係のない呼応の関係。
おそらく～ だろう	けっして ない
きっと～ だろう	だんじて ない
たぶん～ だろう	めったに ない
どうやら～ らしい	とうてい 及ばない
まさか～ ないよね	もし なら
もしかしたら～ かもしれない	まるで ようだ ※比喩
ひよっとしたら かもしれない	

人称制限	1人称	二人称	三人称	
たぶん～	○	○	○	人称制限はない
はずだ	×	○	○	1人称では使えない
らしい	×	×	○	3人称のみ使える
ほしい	○	×	×	1人称だけ使える